全酪連会報2

2021 FEB No.665

若手後継者の本音/大門正英さん 日本酪農見て歩紀/永田正樹牧場(兵庫県神戸市)

酪農業に対する理解醸成活動報告

酪農トピックス/【全国農協乳業協会】 「令和2年度経営者研修会・意見交換会」の開催(本所)ほか

人事異動





www.zenrakuren.or.jp/business/kobai/calftop/

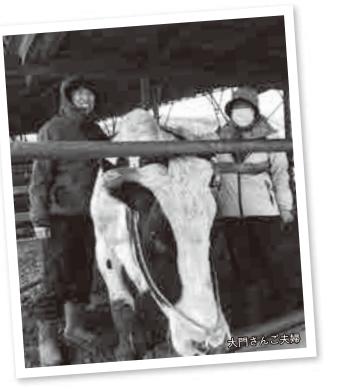


概要

します。
今回は、栃木県鹿沼市の大門牧場をご紹介いた

しています。 自然と文化に彩られたまちの鹿沼市は栃木県 自然と文化に彩られたまちの鹿沼市は栃木県 自然と文化に彩られたまちの鹿沼市は栃木県 自然と文化に彩られたまちの鹿沼市は栃木県 しています。

な彫刻を施した囃子屋台が巡行する祭り行事で、されている、〝鹿沼今宮神社祭の屋台行事〟は華麗また、鹿沼市の中心部に祀られる今宮神社で催



今回は、栃木県鹿沼市 大門牧場の大門 正英さんにお話を伺いました。

実績)となっています。
大門牧場が所属する栃木県酪農業協同組合(石大門牧場が所属する栃木県酪農業協同組合(石ユネスコの無形文化遺産として登録されています。

笹牧場や岩手県の牧場へ預託しています。飼養しており、その他、育成牛約20頭を組合の大成舎が一棟で、経産牛約60頭、未経産牛約20頭を大門牧場は、タイストール牛舎一棟、乾乳・育

インで担当されています。
常働力はご両親と大門さんご夫婦(正英さん、粉働力はご両親と大門さんご夫婦(正英さん、別働力はご両親と大門さんご夫婦(正英さん、

はご家族全員で協力しておこなっています。タリアンとエン麦を作付けしており、こちらの方指定配合飼料を給与しています。自給飼料は、イモシー、オーツヘイ)、自給飼料、所属する組合の観料給与方法は分離給与により、購入乾草(チ

後継するきっかけ

部になっていた事に気が付きました。その時感じない環境』に違和感を覚えた事で、牛が生活のしました。大学へ進学した際に、一人暮らしのア県内の高等専門学校を卒業後、県外の大学へ進学県内の高等専門学校を卒業後、県外の大学へ進学

きっかけになったのだときっかけになったのだときっかけになったのだと、 大学の付近で酪農家を探大学の付近で酪農家を探し、 休日や時間のある時に、 足を延ばして牛を見に、 足を延ばして牛を見かけになったりしていました。 いたほどでした。」

戻り、12年ほど会社員とり合った妻を連れ実家に「卒業後は、大学で知

農することを決意しました。」とない、本格的に就に、生をは子どもが小学生になったと同時に本格的が、妻は子どもが小学生になったと同時に本格的が、妻は子どもが小学生になったともに手伝いに入ので、出社前に牛舎に行って牛を見るだけで癒されるして勤務していました。牛を見るだけで癒されるして勤務していました。牛を見るだけで癒される



目標

淘汰を減らし、牛の長命とともに経営の安定化をでいます。個体差を減らすことで牛のネガティブめに、現在は牛群の個体差を減らす事に取り組ん「生涯、牛と暮らしていく事が目標です。そのた





vol.48

おいて生まれ持った遺伝的能力がきちんと発揮で

ようとしています。現段階では、

将来、

泌乳期に

大切にしている事

はかり、目標である、生涯牛と暮らすことに繋げ

[経営概況]

属 栃木県酪農業協同組合(石川正美代表理事組合長)

大門正英さん、奥様の明日香さん、正英さんのご両親、祖父母、お子さん 家族構成

経産牛約60頭、未経産牛約20頭

生涯、牛と を 目標

きるように哺育・育成期の管理、および出生前の 殖や乳量についても牛群内で大きな個体差がない まで、ステージごとに工夫をし、最終的には、 力をいれています。哺育・育成の段階から搾乳牛 胎児の成長に大きく影響を及ぼす乾乳期の管理に ような状況にすることを目標にしています。」 繁

な面から酪農というものと向き合っていく必要が いきたいと思っています。 達と暮らしていくという一つの目標を持って励んで あります。様々な問題はありますが、何年先も牛 家族経営で牛と暮らす事を続けていくために 経営はもちろん、カウコンフォート等、

酪農業界、

ていきたいと思います。」

ているので、家族が楽しくいられることを心がけ ることが大切だと思っています。牛は家族だと思っ

しを続けていくためには、牛も人も楽しくいられ

「毎日を楽しく作業することです。牛のいる暮ら

- 次の世代へ続いていけるような酪農業界になっ

この業界への要望

PR をどんどんしていただけたらと思います。」 げるような、そんな業界になるといいなと思いま す。そのためには、酪農の魅力をもっともっと広 継者がいない方でも、酪農を始めたい人が後を継 ていってほしいと思います。後継者はもちろん、 く知ってもらう必要がある為、この業界についての

最後に

正英さん、明日香さんに感謝申し上げます。 生涯、牛と暮らしていきたいという、お二人 ご多忙の中、快く取材を引き受けていただいた

なりました。 申し上げます。 大門牧場のますますのご発展とご活躍をお祈り

の牛への愛情を強く感じることが出来た取材に

全国の若手後継者の方へ 言

日楽しくやっていきましょう! 「若手だけでなくどの世代の方々も、 牛さんと毎



永田正樹牧場

兵庫県神戸市

地域の繁栄を夢

地域の紹介

馬温泉、 忘れてはいけないものとして市民 る生田神社、 な外国文化を取り入れて独自のス 綿と横たわっています。1868 931mにもおよぶ六甲山系が連 側は淡路島を臨む瀬戸内海に面し、 する全国で7番目の都市です。南 都市でその人口は 152 万人を有 害とその復興を成し遂げた経験は、 あります。また、 ります。 旧石器・縄文時代にまでさかのぼ タイルを築いてきた神戸の歴史は、 北には東西に全長30㎞、 兵庫県の南部に位置する政令指定 永 (慶応3年)の開港以来、 淡路大震災で被った大きな被 至るところにいろんな発見が 田 正樹牧場がある神戸 日本一 日本書紀に起源が記され 豊臣秀吉も好んだ有 の酒どころの灘な 1995 年の阪 最高峰が 市 多様 は、

> 量は46,272tとなっています。 月末日現在)、 生産戸数が180戸(令和2年3 川稔英代表理事組合長)は、 属する兵庫県酪農農業協同組合 31 によると言われています。 で外国人が行う搾乳販売をまね明 の日々の暮らしに生き続けて 田牧場は神戸市の西に位置し、 治初年に牛乳販売が始まったこと ます。 戸の酪農家が生乳生産を行って 神戸の酪農の発祥は、 その中で今回訪問した永 令和元年度生乳生産 現在は、 居留 生乳 所



させていきたいと考

永田牧場の紹介

①牧場の沿革(始まりから現在まで)

ていましたが、お父さんである2最大で70頭の搾乳牛を飼養管理し祖父の義郎さんが牧場を始め、

代目

の幹彦さんが引

き継がれたのちは生乳生産調整の波を受いた。 ました。 ました。

見識 同時 者と協力しながら酪 た生産者や組合関係 りますが交流を深 との交流を深めると として地域の酪農家 期には酪農ヘルパー 正樹さんは、 検定の検定員をさ 現在も、 大変な時代ではあ や地域を活性化 も深められまし に様々な酪農の 毎月の牛

れています。手のホープとして大いに期待もさえられています。そして、地域の若

で 2 年

-間の実習を経て、

カナダの

酪農を学んだ後に十勝の成松牧場

②就農と結婚

高校を卒業、北海道の八紘学園で正樹さんは、兵庫県立播磨農業



年には拡がっていた畜産コミュニ だいています。 来られ仲睦まじい姿を見せていた 給センター(兵庫 SP)にも牛 とです。 オーストラリアに行かれたとのこ た愛理子さんと結婚、ハネムーンは ティの中で運命的な出会いとなっ れました。 検定のデータの打ち込みに夫婦で に行ったとのことで、 JACOBS で1年間の研修を終 帰国した2016年に就農さ 結婚後も沖縄に2人で旅行 就農2年後の2018 全酪連兵庫供



頭は預託しているとのことです。

未経産牛10頭、

育成牛30頭、うち1

現在の飼養頭数は、経産牛36頭

経営の概況

の愛理子さんの4名です。 で本人の正樹さん(28才)と奥さんの変理子さん、お母さんの佐知子さん、お父さんのを知子さん、

て循環できているとのことです。 で循環できているとのことです。 おた、 堆肥は年間を通し イタリアンライグラスを作付けし、 イタリアンライグラスを作付けし、 給飼料は10 加ある圃場に飼料用稲と



もされています。 れています。正樹さんは加えて種付け 管理はお父さんと正樹さんが担当さ 愛理子さんも加わり4人でされていま と正樹さんが行い、給餌には奥さんの 日々の搾乳はお父さん、お母さん 哺乳はお母さんが担当し、 圃場

強化を成されています。 パスタンパク配合)と全酪エナジー て全酪連のアミノサプリL(バイ 料を給与し、 合飼料とを組み合わせたベース飼 合飼料を混合した飼料と商系の配 (脂肪酸カルシウム配合) 等を給与 濃厚飼料は全酪連兵庫 SP 生乳生産性の向上や飼養管理の サプリメント飼料とし で配

経営の特徴

生産 優しい環境作りを目指しています。 を入れており、併せて、牛にも人にも 良に力を入れられ、 正樹さんは、 (健康) 寿命の向上の改良に力 就農当時より乳牛改 現在は繁殖性や

場で飼養管理しています。初産分娩 その牛は現在16か月齢になり永田牧 優良後継牛の生産に成功しています。 係者と協力してシンジケートを開設し クト』と題し、 2019年より『KISSプロジェ 近隣酪農家や畜産関

後継牛の増産を狙うとのことです。 後は採卵事業を利用して更なる優良



組合活動

の設立、 酪農発展のために努力されました。 半の期間、 組合長として 2019 年より2年 な局面で兵庫県酪農農業協同組合の お父さんの幹彦さんは、 そして分裂など様々の困難 兵庫県の酪農家のため 酪農組合

います。 会において1等2席を受賞され も積極的に取り組まれ、兵庫県共進 コロナ禍になるまでは共進会に

したうえで近隣和牛農家と協力して 地でもあり、 区は世界的に知られた神戸牛の生産 と情報交換の場として定期的に懇親 会や視察を実施しています。この地 また一方で、 我が家の後継牛を確保 神戸市周辺の酪農家

> 移植し繁殖の向上やその生産仔牛の ないこと、また、生産仔牛を分娩後3 メリットがあるとのことです。 日以内に引き取りに来てくれるという 有利販売にも務めています。この事業 移植に対してコストがほぼかから

地域とのつながり

場を積極的に利用し相互に WIN で地域住民との関係構築を行って からの理解も得ているとのことで の規模拡大を申請しており地域住民 スター関連事業を利用し60頭搾乳へ トや催事に積極的に参加すること WINの関係を築いています。 います。令和2年度補正予算のクラ 消 自給飼料の生産のため地域の圃 防団への加入や地域のイベン

今後の目標

ジェラート店の出店や、 搾乳まで増頭するという計画を考 れています。 えており、永田牧場が発展すること で地域を活性化させたいと考えら てほしいと思っています。 正樹さんは、 この地域が繁栄し 1 2 0 頭 今後は、

規模拡大が雇用を生み、ジェラー

補助事業を活用し但馬和牛授精卵を るかもしれません。いや、是非そう 実現に駒を進めるそんな永田 な構想を想い描きフレキシブルに なってほしいと思います。 な明るい未来が神出町に待ってい ト店が地域の憩いの場となる。そん いろいろ

が今回の取材で見えました。

場

り、 ました。 た酪農経営を現実のものとしてお この地域ならではの特徴を生かし 協力による有利経営を行うという 売を積極的に行う、また、地域との を増やし受精卵販売や和牛仔牛販 はまだ28才と若いですが、 と深くお礼申し上げます。 材を引き受けていただきましたこ いということを確信し取材を終え このコロナ禍の大変な時期に取 今後の目標・夢は決して夢でな \widehat{T} K良い血統 正樹さん



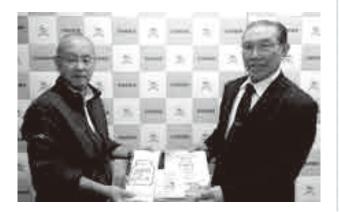
農業に対する 理解或戏活動報告



●牛乳料理コンクール茨城県大会

開催日:令和2年10月3日出

参加者:茨城県酪連·茨城県牛乳普及協会·茨城県酪農青年女性会議



●東毛酪農業協同組合の直販会社直営の店舗において理解醸成活動

開催日:令和2年10月30日(金)~31日(土) 参加者:東毛酪農業協同組合 職員 他



●第2回おおたわら丘ポタ2020那須BLASENと走ろう! (サイクリングイベントでの地元スポーツチームとのコラボイベント)

栃木県大田原市

開催日:令和2年11月15日(日)

参加者:栃木県酪農青年女性会議 他3名



●搾乳体験活動

栃木県内 小学校·幼稚園対象

開催日:令和2年11月15日(日)、18日(水) 参加者:栃木県酪農青年女性会議 他3名



●第62回岐阜県家畜保健衛生業績発表会 岐阜県岐阜市 岐阜大学応用生物科学部

開催日:令和2年12月18日) 参加者:岐阜県酪農農業協同組合連合会 職員 他







●畜産ふれあい体験 (モウモウスクール)

山口県下の小学校

開催日:令和2年10月下旬から 11月中旬

参加者:山口県酪農青年女性会議

10名程度







●出張酪農体験学習

長崎県雲仙市 小浜小学校

開催日:令和2年10月23日(金)

参加者:長崎県酪農青年女性会議 他9名









●大村市 牧場まつり 大村市宮代町 高良谷牧場

開催日:令和2年11月1日(日)

参加者:長崎県酪農青年女性会議 他5名









●パインテールファーム修学旅行体験受入 長崎県雲仙市 パインテールファーム

開催日:令和2年10月29日(水)

参加者:長崎県酪農青年女性会議 他3名









●小長井小学校3年生田﨑牧場体験学習 長崎県諫早市小長井町 田﨑牧場

開催日:令和2年11月20日)

参加者:長崎県酪農青年女性会議 他2名









本所発

【全国農協乳業協会】 「令和2年度経営者研修会・意見交換会」の開催

酪農部が事務局を担っている全国農協乳業協会(会 長:大久保克美 東毛酪農業協同組合 代表理事組合 長) において、令和3年1月14日に16事業者21 名の参加をえて、経営者研修会・意見交換会を開催い たしました。例年は KKR ホテル東京で開催していた 本研修会も、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防 止の観点から、オンライン研修会といたしました。

本研修会は毎年、農林水産省からの「最近の酪農 乳業情勢」と、もう1テーマ社会情勢にあったテーマ を取り上げております。

今年度は、日本製紙株式会社 紙パック営業部 紙 パック営業統括部 部長代理 増田順一氏より「使い捨 てプラスチック減量に向けて 紙の可能性と最新開発 事例」と題して、昨今世界的に話題になっている使い 捨てプラスチックの取り扱いについて、ストローレス 対応学校給食牛乳用紙パックの「School POP®」の 紹介を中心に講演をいただきました。令和3年1月よ り高知県の学校給食牛乳で一部採用されたことが紹介 され、実際の学校や学童からの感想等について多くの

質問があがりました。また、2つ目のテーマとして、 農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課 乳製品調整官 松本憲彦氏より「生乳需給調整の課題と今後の目指す 方向性について」と題して、直近の生乳需給の課題や、 それに伴う北海道からの生乳移入の今後の方向性につ いて講演をいただきました。国内の飲用需要を満たす ための生乳の安定供給に係る全国規模での生乳需給調 整の重要性や、都府県の加工施設の調整弁としての役 割の現状、施設維持に係る費用や乳製品の負担の問題、 及び今後の北海道・都府県の加工施設の在り方につい て活発な意見交換が行われました。

オンライン研修会ということで、実参加が難しい 会員事業者にもご参加をいただくことができました。

新たな年を迎えてもなお、新型コロナウイルスに よる社会不安や経済の停滞が騒がれる世の中ではあり ますが、これからも全国農協乳業協会は会員事業者の 負託にこたえるべく様々な情報の発信や活動を続けて いきたいと考えております。



▲ 農林水産省 乳製品調整官 松本憲彦氏



▲ 日本製紙株式会社 紙パック営業統括部 部長代理 増田順一氏



▲ School POP®

東 支所発

栃木県酪農業協同組合 令和2年度 大笹牧場 新規就農者等向け研修会 催される

栃木県酪農業協同組合(栃木県宇都宮市、石川正美 代表理事組合長)は昨年9月、10月、12月の3か月 で合計6日間にわたり新規就農者等向け研修会が開 催されました。講師には当会技術顧問の成田修司を迎 え、新規就農者、酪農後継者、栃酪若手職員と延べ 91 名が受講しました。講義内容は基本的知識・技術 から実際の牛群観察、飼養管理技術に至るまでを学び、

特に若い新規就農希望者、酪農後継者の方々には新鮮 で大変良い研修会だったとの評価で来年度も継続して 欲しいとの声も聞いています。コロナ禍の影響で来年 度の開催はまだ未定ですが業界の若手人材の更なる知 識・技能のレベルアップが図れるよう研修会が実施さ れることを切に祈ります。 (W.K)





原稿募集

「酪農トピックス」では皆様からの記事を募集しております

共進会、B&W、酪農祭り、親睦スポーツ大会といった催事情報から組合住所の 変更や移転等案内情報、そして直営店情報や組合の自慢情報まで、酪農トピックス では会員の皆様からの原稿を募集しております。本コーナーは会員の皆様の情報 交換の場です。ぜひご活用ください。

送付先

皆様のお近くにあります本会支所までご送付・ご連絡ください。

■札幌支所

〒060-0003

札幌市中央区北3条西7丁目1 酪農センター5階 tel. 011-241-0765

■仙台支所

〒980-0021

仙台市青葉区中央1-7-20 東邦ビル3階 tel. 022-221-5381

■東京支所

T 151-0053

東京都渋谷区代々木1-37-2 酪農会館4階 tel. 03-5931-8011

■名古屋支所

〒460-0008

名古屋市中区栄1-16-6 名古屋三蔵ビル3階 tel. 052-209-5611

■大阪支所

〒 532-0011

大阪市淀川区西中島5-14-10 新大阪トヨタビル6階 tel. 06-6305-4196

■福岡支所

T812-0016

福岡市博多区博多駅南1-2-15 事務機ビル7階 tel. 092-431-8111

初乳粉末製品

初乳が足りない時、イザという時の備えに、 グッドスタートプレミアムが皆さんのお役に立ちます。

免疫グロブリン 70g /₩ N.E 含有

○作業性は「3楽」

~ 溶かすも楽、給与も楽、片付け作業も楽々 ~

何かと余裕がなく、慌ただしい子牛の分娩。 溶解性に優れているグッドスタートプレミアムを使えばスムーズです。

消化・吸収・機能性に優れた各種成分を配合しました!

良質な 初乳粉末

中鎖脂肪酸

ビタミン ミネラル

乳酸菌 フィズス菌

全卵粉末





ソイクロール

麻標登録出願中

~ソイクロールで移行期を乗り切ろう~

ソイクロールの特長

エネルギーコントロールのしやすさ

乾乳期の遇剰なエネルギー給与は、様々な周産期疾病の一因とされます。ソイクロールは、 クローズアップ期の代謝タンパクを充足させながらエネルギーのコントロールがしやすい気料です。

分娩後の代謝を考えたミネラルバランス(DCAD)

ソイクロールはDCADを適正化させる塩素を強化しつつ、不足しがちなマグネシウムとカルシウム も配合しました。乾乳期のDCADを整えることによって、分娩後の良いスタートを切りましょう。

給与量

●給与推奨量 クローズアップ期にて1頭当たり600g~1kg/日。

み解しくは粋食スタッフまで、

お問い合わせ先



全国酪農業協同組合連合会

札幌支所 011(241)0765 仙台支所 022(221)5381 名古屋支所 052(209)5611 福岡支所 092(431)8111 釧路事務所 0154(52)1232 帯広事務所 0155(37)6051

根室駐在員事務所 01537(6)1877

北東北事務所 019(688)7143 大阪支所 06(6305)4196 東京支所 03(5931)8011

中四国事務所 0868(54)7469 道北事務所 01654(2)2368 北関東事務所 027(310)7676 近畿事務所 0794(62)5441 栃木駐在員事務所 028(689)2871 三次事務所 0824(68)2133

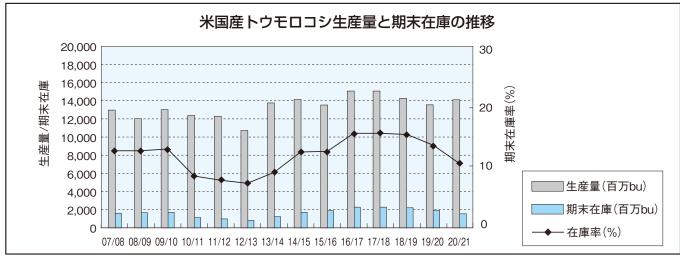
南九州事務所 0986(62)0006

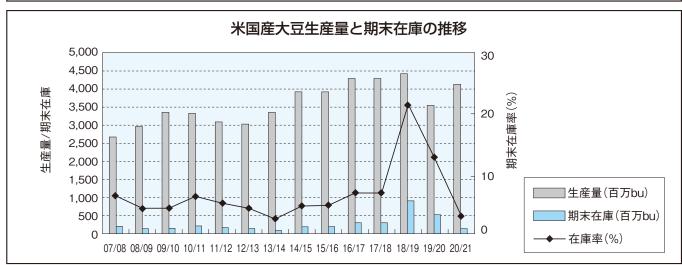




		19/20年産	20/21年産			
1月12日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	作付面積(百万エーカー)	89.7	90.8			
	単 収(ブッシェル/エーカー)	167.5	172.0			
	生 産 量 (ブッシェル)	136億2,000万	141億8,200万			
	需 要 量 (ブッシェル)	139億6,300万	145億7,500万			
	期末在庫 (ブッシェル)	19億1,900万	15億5,200万			
	在 庫 率	13.7%	10.6%			
トウモロコシ相場動向	1月USDAのサプライズからシカゴ定期は490¢台から530¢と大きく上昇。現在のところ大きな下げ材料はなく、むしろ旺盛な中国の飼料需要や南米主要生産地での天候が引き続き懸念されるため相場は堅調に推移していく見通し。					
大豆粕相場動向	引き続き旺盛な中国の需要と、南米産の高温乾燥に伴う生産量の減少懸念やアルゼンチンのストライキの影響により、堅調に推移するシカゴ相場は更に一段高騰している。国産大豆粕は各メーカー定修に入っていることや、緊急事態宣言による大豆油需要の減少懸念に伴い搾油量が引続き低調となる見込みであることと、原料輸入大豆高に伴い強気の相場展開となっている。					
糟糠類	【一般フスマ】 小麦粉の生産が引続き低調で逼迫傾向は続いているものの、配合割合調整と輸入ふすまの使用により需給は安定しつつある。					
	【グルテンフィード】 国産は各メーカー定修に入っており発生は引き続き低調で、不足分は配合割合調整との輸入で賄っているものの、現地価格高により価格競争力は無い状況にある。					
海上運賃	中国の穀物需要が強く引き続き船腹がタイトなことから海上運賃は堅調に推移している。これから南米大豆が本格化していくことで貨物輸送量も増加する可能性が高く、南米積もタイト化する恐れがあることから今後も堅調に推移していく見通し。					

令和3年1月







輸入粗飼料の情勢 や和3年1月

北米コンテナ船情勢	20年に世界各国に感染が広がったコロナウィルスの影響はコンテナ物流にも影響を及ぼしています。感染拡大直後の3月から世界的消費の鈍化による海上運賃下落を危惧した各船社は本船運航を減便し需給の調整を行いました。感染規模がひと段落した夏場ころからアジア諸国から北米向けの輸出量は回復しました。貨物量は年末のクリスマス商戦向け商品及び、米国の低金利を背景とした好調な新規住宅及びリフォームに使う建材、コロナ対策の衛生関連商品が急増しています。20年11月のアジア発の米国のコンテナ輸入量は単月で過去最高となる177万TEUを記録しています。この貨物の増大でアジア発北米向け本船の船腹は逼迫しており、特に中国から米国向けの海上運賃は運航を調整していた昨夏から上昇し始め、現在では前年の倍以上の水準に達しており歴史的高値となっています。一方急激に北米への貨物量が増大したことで、米国内で空コンテナが滞留し11月以降、中国、アジアを中心に世界的なコンテナ不足となっています。このため各船社アジア向けに空コンテナを手配する動きは顕著となっており、直近の北米発アジア向け本船では、輸出貨物向けの船腹を減少させ、その分空コンテナ回漕に割り当てを増加させ本船を運航する動きが出ています。北米から日本への海上運賃が低調ななか、日本到着後、空コンテナとなり輸出用として船社が活用できるようになるまで1か月以上かかることを考えると、北米から中国向けに空コンテナを回漕した方が到着後すぐに輸出用として活用できるため、各船社空コンテナを中国をはじめとしたアジア諸国に回漕することを優先しています。このことから北米から日本向けの海上運賃も上昇傾向にあり、船社によっては12月に続き1月も日本向けで\$50-\$200 / コンテナのGRI(海上運賃一斉値上げ)を実施しており、今後も値上げの可能性が高く輸入乾牧草のコストを押し上げています。				
北米コンテナターミナル情勢	上述の通り北米においては輸入貨物が増加していることから、窓口である各港ターミナルにおいて混雑が生じています。船腹の予約が厳しいうえ、各港の混雑も貨物遅延の原因となっています。特に米国における貿易の要であるロサンゼルス港、ロングビーチ港の混雑状況は深刻さを増しています。これは増加する輸入貨物量に対してターミナルの荷役作業員及び、コンテナの保管スペースが不足しており、貨物の輸入量が各ターミナルの収容許容量を超えています。この結果、通常以上に本船荷役に時間を要しており予定していたスケジュールで本船が寄港できずに沖合での滞船が増加しています。年明けにはロサンゼルス港近郊では33船が沖合に滞船しており、その数は年末の24船から増加しています。またロサンゼルスから日本に向けて出港する本船は平均5-8日の滞船となっており、当初予定していたスケジュールよりも1週間以上日本への到着が遅れることが恒常化しています。シアトル・タコマ及びカナダのバンクーバーといったPNW出港の牧草においても船積みの混乱が生じています。例年冬季は空コンテナが不足し、荒天の影響を受けやすい地域ですが、現在他の地域と同様空コンテナが優先され出荷されており、船腹の予約が取り辛い状況が続いています。またバンクーバー港では荒天による強風の影響でターミナルの稼働率が落ち込んでおり、スケジュール通りに本船が寄港できずに遅れが生じています。通常PNWの貨物はタコマ港⇒バンクーバー⇒日本へと寄港するため、バンクーバー港での出港の遅れは米国産アルファルファ、チモシー、ストローなどの船積みの遅れにもつながっています。				
豪州コンテナ船 情勢	船積み状況は改善が見られず引き続きスケジュールの遅れが出ています。中国及びその他アジア向けへの空コンテナ回漕が優先されており、21年1-3月は豪州発の本船船腹は逼迫した状況が続くと見込まれており、現時点で輸出向け本船の船腹は2月末まで満船の状態です。また豪州から日本向けの積替港であるシンガポール港やマレーシアのポートケラン港、韓国の釜山港の混雑状況はこの1か月で悪化しています。これは現在中国発北米及び、欧州向けの直行便の船腹で満船が続いているため、他のアジア諸国は中国経由の船腹予約ができないためシンガポール港やポートケラン港、釜山港経由での輸出入に切り替えていることが要因と考えられています。この混雑により、豪州からこれら経由地への入港が遅れ、積載が予定されていた日本向けのフィーダー船への積替えに間に合わず、日本への到着スケジュールが大幅に遅れています。				
ビートパルプ	【米国産】 コロナウィルスの感染が拡大している影響で労働力不足となっています。製糖作業が続いているビート工場労働者はもとより、輸送においても労働者不足は深刻な状況となっており、今後原料搬入や製品の出荷といったサプライチェーンへの影響が懸念されています。産地では暖冬気味で平均気温が高い日が続いており、保管されているビート原料のダメージが心配されています。				
7" 7-" 7-	1月7日に米国農務省(USDA)から発表されました輸出統計によると、中国向けのアルファルファ輸出量は20年1月-11月で100万tを超えています。これは米国から追加関税が課される前の17年以来3年分ぶりとなります。引き続き中国向けの出荷は高成分品を中心に出荷されています。				
アルファルファ	【ワシントン州】 主産地であるコロンビアベースンでは、高成分な上級品を中心に相場は堅調に推移しています。産地では 12月末に降雪がありシアトルーエレンズバーグ間を結ぶ幹線道路(I-90)で一時通行止めが発生しました。幸い短期間での 通行止めであったため、シアトル港へのコンテナ輸送の影響は軽微でしたが、今後も天候には注視が必要です。				
チモシー	【米国産】 20年産の1番刈は主産地であるワシントン州コロンビアベースンとキティタスバレーで収穫期の天候不良により、上級品の発生は限定的となりました。産地在庫も中級品以下が中心で上級品は限定的です。				
チモジー	【カナダ産】 20年産は上級品の発生量が限定的であったため、産地では大半が成約済みとなっており、追加買付は難しい状況です。一方発生量の多かった低級品については供給余力がある状況です。				
スーダングラス	豪州産オーツへイの不作を受け需要は強くなっていますが、20年産は上級品の発生が少なかったことや、低級品においても、産地の干ばつの影響で自給飼料が不足している肥育牛生産者からの引き合いが旺盛なため、産地在庫は限定的となっています。				
クレイングラス	クレインは全酪連の登録商標です。 日本、韓国中心に堅調な引き合いがあり、上級品の現地在庫は限定的となっています。高温多湿な天候が続いた夏場から秋口以降に収穫された茎が固く、湿度により発生したブリーチが混じった低級品の供給余力はありますが、これらは韓国を中心に出荷されています。				
ストロー類	20年産は収穫期の天候に恵まれたため、ペレニアル種、アニュアル種のライグラスストロー、フェスキューストローともに良品が発生していますが、需要の強いペレニアル種ライグラスストローは輸出業者を中心に旺盛な買い付けが行われており、産地相場は堅調です。				
オーツヘイ	【豪州産】 20年産の作況は西豪州で上級品が生産できたものの、南豪州、東豪州では断続的な降雨の影響で中低級品中心の作況となりました。一方、需要は日本をはじめ好調な乳価と自給飼料が不作であった中国を中心に引き合いが強く、輸出業者によっては受注数量が増加しており、すでに製造スケジュールが6月まで埋まっています。				



	新		旧		氏	名	
■令和3年	2月1日付異動発令						
名古屋支所	購買畜産課長	東京支所	購買畜産課長	岩	崎	正	孝
名古屋支所	購買畜産課 畜産リーダー	大阪支所	近畿事務所長	蔦	谷		晃
購買生産指導部	付出向 全国酪農飼料㈱鳥栖工場 総務課長	福岡支所	酪農課長代理	長	谷川	和	典
■令和3年	2月1日付兼務・兼務解除発令						
購買生産指導部	副部長 兼 畜産課長 兼 若齢預託熊本牧場長	購買生産指導部	副部長 兼 畜産課長	鳥	Ш	順	史
仙台支所	購買畜産課長	仙台支所	購買畜産課長 兼 北東北事務所長	Ш	中		新
東京支所	次長 兼 購買畜産課長	東京支所	次長	渡	邉	和	典
名古屋支所	次長 兼 指導組織課長	名古屋支所	次長 兼 指導組織課長 兼 購買畜産課長	炬	口	浩	司
大阪支所	支所長	大阪支所	支所長 兼 指導組織課長	荒	木	泰	將
大阪支所	次長 兼 酪農課長 兼 指導組織課長	大阪支所	次長 兼 酪農課長	津	田	知	亮
大阪支所	近畿事務所長 兼 中四国事務所長	大阪支所	中四国事務所長	下	田	宏	=
	2月1日付昇進発令 酪農技術研究所 課長	購買生産指導部	酪農技術研究所 課長代理	関			誠
仙台支所	北東北事務所長	仙台支所	北東北事務所長代理	栗	田酒	享 —	郎

INFORMATION



乳牛產地情報

令和3年2月1日現在

価格状況 ★……強含み 承……やや強含み ➡……横這い ★……やや弱含み ↓……弱含み

札 幌 支 所 TEL 011-241-0765 釧路事務所 TEL 0154-52-1232 根室駐在員事務所 TEL 01537-6-1877 帯広事務所 TEL 0155-37-6051 道北事務所 TEL 01654-2-2368

事 務 所	畜 種	相場(万円)	価格状況	管 内 状 況	
	育成牛(10-12月令)	45~55	→	札幌管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で96.6%、累計で100.6%、苫小牧管内月計で99.0%、累計で100.6%の実績となっております。2月の初妊牛動向といたしまして、4月~5月上旬分娩腹が中心となります。1月の同地域の乳牛市場は春分娩腹も出始	
札幌管内	初 妊 牛	70~80	7	めましたが、購買者が少ないこともあり、横這いに推移しました。2月は春分娩腹の牛が中心 に上場するため、強含みの相場になると予測されます。資源状況としましては、F1腹・雌雄選	
	経 産 牛	45~55	7	別腹ともに十分に確保できるものと思われます。出回り頭数は少ない地域ではありますが、優 良牛や高能力牛の多い地域でもありますので、ご希望がございましたらお問合せください。	
	育成牛(10-12月令)	45~50	7	根釧管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で100.3%、累計で100.9%、中標津管内月計で100.7%、累計で101.9%の実績となっております。2月の初妊牛動向といたしまして、4月~5月の分娩腹が中心となります。1月の管内乳牛市場は、春分娩腹とな	
釧路管内	初 妊 牛	75~85	1	り道内外の購買者も多く、相場は強含みの動きとなりました。2月の庭先購買価格も同様に推移するものと思われます。腹別の価格については、F1腹・雌雄選別腹の価格差はなく	
	経 産 牛	45~55	7	なってきており、和牛受精卵移植腹は100万円を超える牛も出てきております。初妊牛相場の堅調な動きに合わせて、育成牛・経産牛もやや強含みとなってきております。	
	育成牛(10-12月令)	45~55	•	天順になってのりより。2月の初以十割回といたしよりに、4月 5月上旬万焼版が、7	
帯広管内	初 妊 牛	75~85	∼85 ↑ ↑ り、相場は強含みに推	なります。1月管内の乳牛市場は、多くの頭数が上場しましたが、道内外にて初妊牛需要があり、相場は強含みに推移しました。2月は春分娩腹が中心となるため、帯広管内の庭先購買も強含みに推移するものと予想されます。資源状況としましては増加傾向にあり、F1腹・雌雄選	
	経産牛	50~60	1	別腹ともに十分に確保できるものと思われます。また、初妊牛相場が上がると、連動して経産 牛の需要も高くなることから、経産牛相場も強含みの相場展開になるものと思われます。	
	育成牛(10-12月令)	40~50	•	道北管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で97.8%、累計で100.2%、北見管内では月計で104.4%、累計で104.5%の実績となっております。2月の初妊牛動向といたしまして、4月~5月上旬分娩腹が中心となります。昨年末から雌雄選別・F1の腹別関	
道北管内	初 妊 牛	72~82	7	係なく道内の需要は堅調でありましたが、2月は春分娩腹での引き合いがより一層強くなるため、やや強含みで推移すると思われます。道外の需要次第ではさらに高騰する可能性が	
	経産牛	42~52	7	あります。また和牛受精卵腹の需要も強くなっております。2~3産目となる経産牛も引き合いも強くなってきており、初妊牛相場に連動してやや強含みで推移すると思われます。	
	育成牛(10-12月令)	45~55	7	道内の1月中旬までの生乳生産量前年比は101.7%、累計で102.4%の実績となっております。厳しい 寒さが続いておりますが、生乳生産は順調に推移しております。4月~5月の分娩腹が中心となる2月の知ば生動向についてですが、上気のある素が関わられた。または思います。	
道内総括	初妊牛	75~85	1	の初妊牛動向についてですが、人気のある春分娩腹中心になるため相場は強みに推移する事が見込まれます。道内での資源は豊富であるため十分確保できますが、ギガファームの大口導入、さらには加速 化事業の継続も決定し、都府県からの需要は旺盛であることが予想されるため、購買計画がございま	
	経産牛	45~55	7	したら、お早目に弊会担当者までご連絡頂きますようお願い致します。今後についても相場変動を注視しながら、庭先選畜購買による優良な搾乳素牛を供給して参りますので宜しくお願い致します。	

お詫びと訂正

本紙 1 月号(No.664)に掲載しました酪農業に対する理解醸成活動報告(前編)に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げますとともに、 訂正いたします。

<誤> 参加者:岩中酪農青年女性会議 → <正> 参加者:岩中酪青年女性会議

今月の表紙

今月の表紙は 池田辰実氏 撮影 です。



令和3年2月10日発行(毎月1回10日発行)

全酪連会報 2月号 No.665

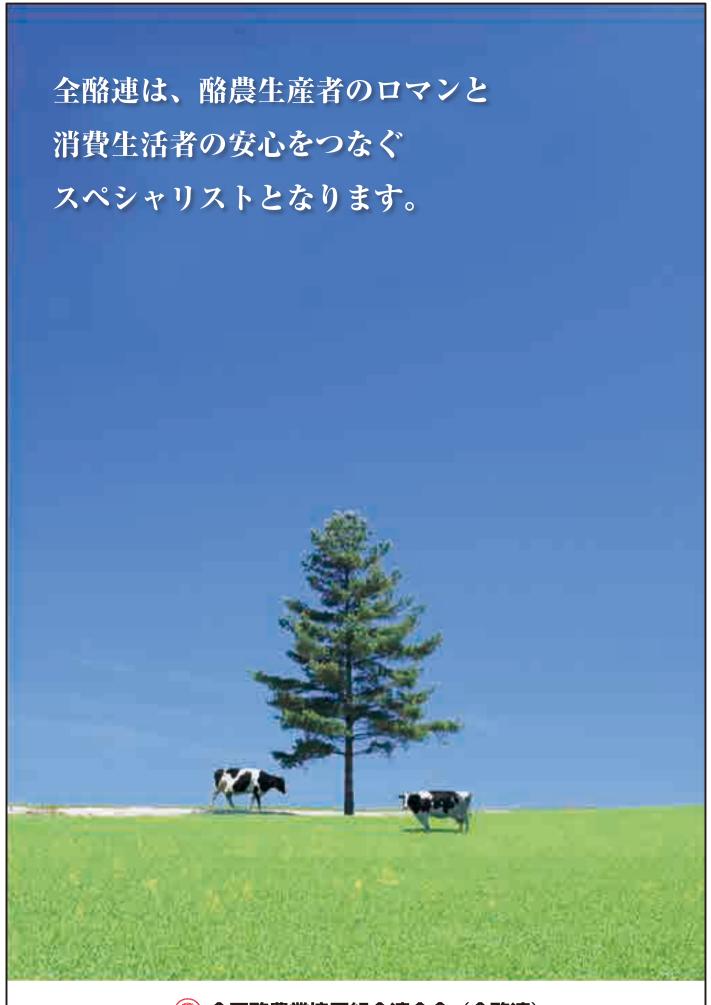
- ●編集·発行人 白鳥建樹
- 発行 全国酪農業協同組合連合会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番2号 酪農会館 TEL 03-5931-8003 http://www.zenrakuren.or.jp/

編集後配

- ●まだまだ寒い日が続きます。体調管理を心がけましょう。そして、コロナに打ち勝つためにも、日頃の手洗いや消毒、マスク着用、不要不急の外出を控えるなど、感染防止対策を徹底に取り組んでいきましょう。
- 会報に関するご意見・ご要望等があれば、 以下のアドレスにメールをいただければ幸い です。

shidoukikaku@zenrakuren.or.jp



全国酪農業協同組合連合会(全酪連)